FUJITSU

自治体から「LGWAN対応できますか？」と聞かれたSaaS事業者向けガイド

既存SaaS環境を活かして、自治体向けサービス提供を
検討するための確認ポイント



本資料でわかること

1. 自治体案件でLGWAN対応が**求められる背景**
2. LGWAN・LGWAN-ASPの**基本**
3. SaaS事業者が直面しやすい**課題**
4. 既存SaaS環境を活かした**対応方法**
5. 導入事例から見る**検討ポイント**

© 2026 Fujitsu Japan Limited

FUJITSU

自治体案件で、こんなお悩みありませんか？

自治体向けにサービスを提案する中で、以下のような相談や確認を受けるケースがあります。

1 自治体から**LGWAN対応**を求められた



2 入札・提案条件に**LGWAN接続**が含まれていた



3 自社SaaSを**自治体向けに提供したい**



4 LGWAN対応のために**専用環境を構築すべきか**迷っている



5 **構築コスト**や**運用負荷**が読めない



6 自治体への提案前に**対応方針を整理したい**



ポイント

自治体案件では、サービス内容だけでなく、提供方式やネットワーク要件の確認が必要になることがあります。
早い段階でLGWAN対応の要否や実現方法を確認することで、提案方針や構成検討を進めやすくなります。

© 2026 Fujitsu Japan Limited

2 検討が止まる理由

FUJITSU

LGWAN対応の判断材料が不足すると、自治体案件の検討が止まりやすい

自治体向けサービスでは、通常のインターネット向けサービスとは異なり、自治体側のネットワーク要件やセキュリティ要件を確認する必要があります。
LGWAN対応の要否や実現方式、コスト、運用負荷を整理できないことで、提案に向けた検討が止まってしまうケースがあります。

自治体案件の検討フローと、止まりやすいポイント

1 自治体から案件の相談



2 LGWAN対応の要否を確認



3 接続方式を検討



4 コスト・運用負荷を確認



5 自治体への提案方針を決定



STOP 1
LGWAN接続が本当に必要か判断できない

STOP 2
既存SaaS環境をそのまま活用できるかわからない

STOP 3
専用環境の構築費用や運用負荷が見えない

STOP 4
実現方式を決めきれず提案内容を固められない

自治体案件を前に進めるには、早い段階で「LGWAN対応の要否」と「実現方式」を整理することが重要です。

© 2026 Fujitsu Japan Limited

FUJITSU

自治体向けサービス提供で押さえておきたいLGWANの基本

LGWANとは

地方公共団体を相互接続する行政専用ネットワークです。

自治体業務で利用されるネットワークであり、
民間事業者が自治体向けサービスを提供する際、
サービス内容や利用形態によっては
LGWAN経由での提供が求められることがあります。



LGWAN-ASPとは

**民間事業者が自治体向けサービスを
LGWAN経由で提供するための仕組みです。**

自治体が安心してサービスを利用できるよう、
J-LISの仕組みに基づいた提供方式や
運用ルールを確認する必要があります。



押さえておきたいポイント

1. LGWANは自治体業務で利用される行政専用ネットワーク
2. 自治体向けサービスではLGWAN対応の要否確認が必要になる場合がある
3. LGWAN-ASPとして提供する場合、接続方式の検討が必要
4. SaaS事業者は、自社サービスの提供形態に応じて対応方針を整理する必要がある

メッセージ

LGWAN対応は、単にネットワークへ接続するだけでなく、
自治体向けサービスとしてどのように提供するかを含めて検討することが重要です。

© 2026 Fujitsu Japan Limited

4 | 個別構築で起きやすい課題

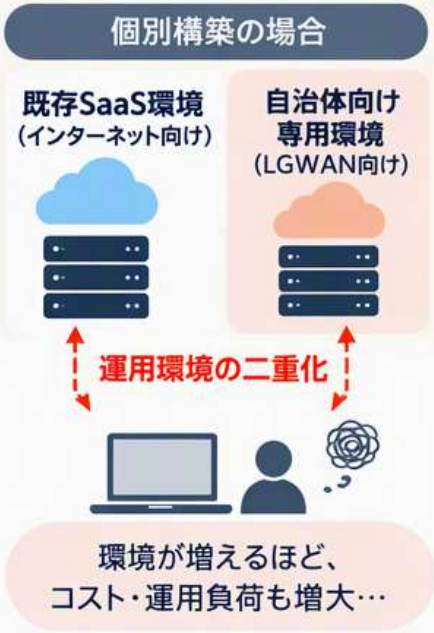
FUJITSU

LGWAN対応でよく発生する「運用環境の二重化」問題

LGWAN対応のために個別に環境を構築する場合、既存SaaSとは別に、自治体向け専用環境を用意する必要が生じることがあります。
その場合、初期投資だけでなく、運用・監視・保守の負荷も増えやすくなります。

個別構築で発生しやすい課題

- 新規環境構築に伴う初期投資
- 既存環境と自治体向け環境の運用環境の二重化
- 監視・保守・障害対応の増加
- セキュリティ対策や申請対応の負荷
- 自治体ごとの展開スピード低下
- サービス拡大時の追加対応負荷



個別構築と既存SaaS環境の比較

比較ポイント	個別構築の場合	既存SaaS環境を活用する場合
初期投資	専用環境の構築が必要	**投資費用抑制**（既存環境の活用）
運用体制	環境ごとの管理が必要	運用の一元化を維持
提供開始までの期間	構築・調整工程が発生	提供開始までの期間短縮
保守対応	管理対象が増加	保守負荷は変動なし

メッセージ

LGWAN対応を検討する際は、接続費用だけでなく、
専用環境構築や運用二重化による総コストを含めて比較することが重要です。

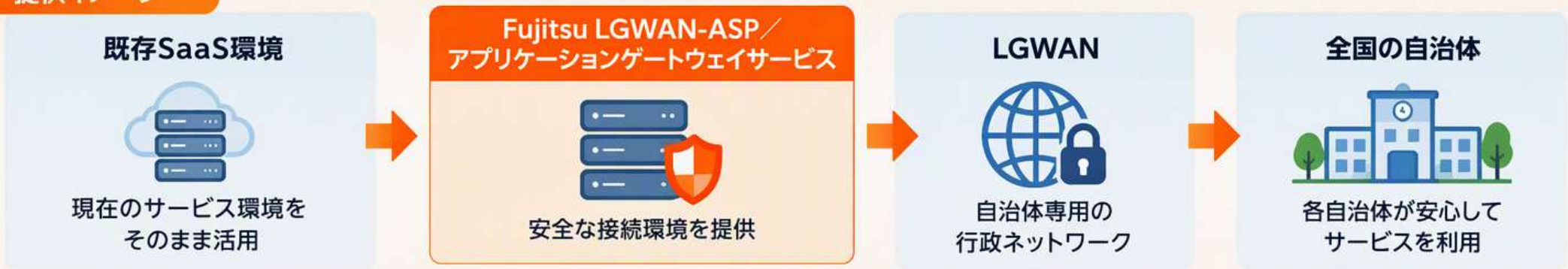
© 2026 Fujitsu Japan Limited

FUJITSU

既存SaaS環境を活かしてLGWAN対応を検討する

Fujitsu LGWAN-ASP／アプリケーションゲートウェイサービスは、既存のSaaSサービス環境を活かしながら、LGWAN経由で自治体へのサービス提供を実現するためのサービスです。

提供イメージ



4つの提供価値

1 既存SaaS環境を活用
自治体向け専用環境を新たに構築せず、既存環境を活かした提供を検討できます。

2 新規設備投資を抑制
大規模なハードウェア投資や新規回線敷設の負担を抑えられます。

3 早期の提供を支援
LGWAN接続に関する検討を進めやすくし、自治体向けサービス提供の早期実現を支援します。

4 セキュアな通信環境
LGWAN経由で、自治体向けに安全なサービス提供を検討できます。

メッセージ

Fujitsu LGWAN-ASP／アプリケーションゲートウェイサービスは、
単なる接続サービスではなく、**既存SaaSを自治体向けに展開するための選択肢**です。

© 2026 Fujitsu Japan Limited

FUJITSU

既存SaaS環境を活かしてSMS配信サービスを自治体へ提供

ユミルリンク株式会社では、自治体向けにSMS配信サービスを展開するにあたり、LGWAN接続を実現したいというニーズがありました。
Fujitsu LGWAN-ASP／アプリケーションゲートウェイサービスを活用し、既存SaaS環境をそのまま活用した自治体向け提供を実現しました。

導入前の課題

- LGWAN接続を実現したい
- 既存SaaS環境はできるだけ変更したくない
- 自治体向け提供を効率的に進めたい
- 専用環境の構築や運用負荷を抑えたい

サービス構成イメージ



導入効果

- 既存SaaS環境を活用
- LGWAN経由で自治体向けサービス提供を実現
- 自治体向けSMS配信サービスの提供を推進

約3カ月でサービスイン

採用のポイント

- 既存SaaS環境を活用できる
- LGWAN経由で自治体向けサービス提供を実現
- 短期間かつ効率的に自治体市場へ展開しやすい

お客様コメント

「LGWAN対応は通常SaaS改修含めて1年ほどかかるところ、3ヶ月程度でサービスインできたことは大きな成果です。」

既存SaaS環境を活かして自治体向けサービスを展開したい事業者にとって、LGWAN対応方式は重要な検討ポイントです。

© 2026 Fujitsu Japan Limited

FUJITSU

自治体とBPO事業者をむすぶ 安全なデータ授受基盤を構築

株式会社イムラでは、自治体向けBPOサービスにおいて、住民情報を含むデータを安全・確実・効率的に授受する仕組みが必要でした。
Fujitsu LGWAN-ASP／アプリケーションゲートウェイサービを活用し、安全なデータ授受基盤を構築しました。

導入前の課題

- インターネット経由では情報漏えいリスクがあった
- DVDやUSBメモリによる受け渡しは非効率だった
- 専用線構築はコスト負担が大きかった
- J-LIS規約への対応に専門知識が必要だった

サービス構成イメージ



採用理由

- 富士通Japanの J-LIS対応ノウハウ
- 自社SaaS環境をそのまま利用可能
- スモールスタートから柔軟に拡張可能

導入効果

- 「イムラ LGWAN-ASPサービス～むすぶ」を提供開始
- LGWAN経由で安全・確実なデータ授受を実現
- **20自治体** 関東圏を中心に導入
- 遠隔地自治体との取引機会を創出

お客様コメント

「自治体とセキュアにデータをやり取りできています。
LGWANと当社をつなぐ重要なゲートウェイとして、安定して稼働しています。」

**自治体と安全にデータをやり取りする必要がある事業者にとって、
LGWAN対応は事業拡大のための重要な基盤となります。**

© 2026 Fujitsu Japan Limited

8 まずは適用可否を確認しませんか？

FUJITSU

自治体案件でLGWAN対応が必要か、まずは確認しませんか？

自治体向けサービスの提案・提供を検討する段階で、LGWAN対応が必要になるかどうかを早めに確認することで、
提案方針や構成検討を進めやすくなります。

このような段階でもご相談いただけます

- 自治体から**LGWAN対応について**質問された
- 入札・提案前に**対応可否を確認**したい
- 既存SaaS環境を**そのまま活用できるか**確認したい
- 専用環境構築と**比較**したい
- まずは**概算感**や**進め方**を知りたい
- 自治体向け提供に必要な**確認事項を整理**したい

富士通Japanが支援できること

サービス適用可否相談
貴社サービスの適用可否を一緒に検討します。

LGWAN接続方式の検討
最適な接続方式についてご提案します。

ASP登録に関する相談
J-LISの仕組みに基づく登録に関する相談に対応します。

自治体向けサービス提供に向けた進め方の整理
提案から提供開始までの進め方をサポートします。



お問い合わせ

Webフォーム
下記のキーワードで検索し、
Webフォームからお問い合わせください。
富士通Japan LGWAN お問い合わせ

お電話
0120-933-200
[受付時間] 9時～12時、13時～17時30分

メール
fjj-hansui-lgwan@cs.jp.fujitsu.com

自治体案件でLGWAN対応を求められたら、まずはお気軽にご相談ください。

© 2026 Fujitsu Japan Limited